

自然情報誌

ネットワーク梵珠

Vol-32 No.10

発行/青森県立自然ふれあいセンター (第374号)

〒038-1301 青森市浪岡大字大釈迦字沢内沢1-1

TEL 0172-62-4527 FAX 0172-62-8510

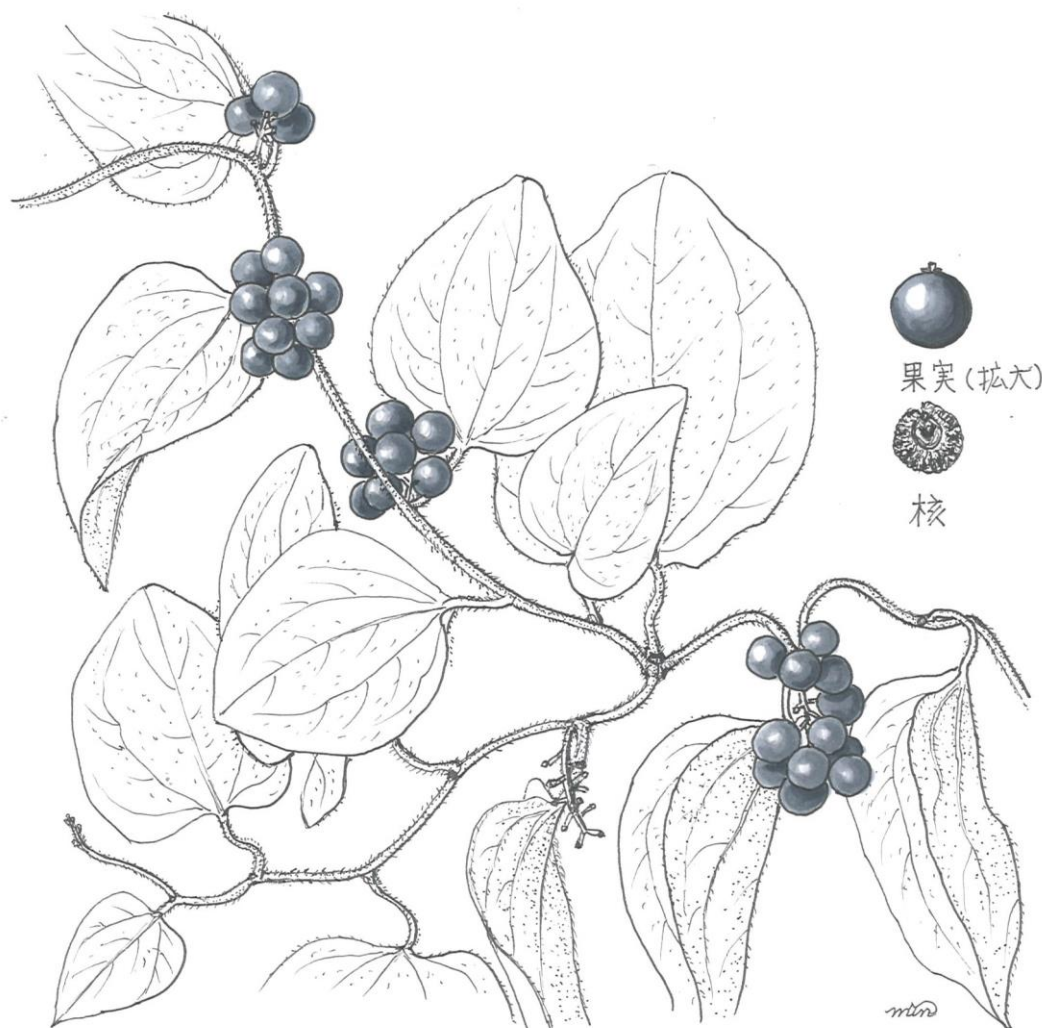
URL <http://www.bonjyu-furesen.info> メールアドレス bonjyu@jomon.ne.jp

2023.10.15

～おいしそうなお実ですが…～

アオツツラフジ<実> (ツツラフジ科) 青葛藤

山野に生える つる性の落葉木本。つるはヤブに絡まって生長し、細毛がある。雌雄異株。夏に黄白色の小さな花を多数つけ、秋はブドウのような果実が藍色に熟し目立つ。ただし果実は有毒なので注意。名は、つるが緑色(枯れると黒色)で、昔このつるでツツラ(衣類を入れる籠)を編んだことによる。別名カミエビ



梵珠山自然観察・発見ノート

梵珠山の自然情報！○開花 △^{つぼみ}蕾 ×実 (9月中旬～10月中旬)

植 物

木 本 ○ホツツジ×クリ×ブナ×トチノキ×ホオノキ×オニグルミ×ミズナラ×クサギ×スギ×ハイイヌガヤ×オオカメノキ×カンボク×ミヤマガマズミ×コマユミ×ズミ×アキグミ×ヤマウルシ×ヌルデ×ツタウルシ×ツルシキミ×ヒメモチ×ヒメアオキ×ノブドウ×ウリノキ×アクシバ×ウスノキ×ハイイヌツゲ×サワフタギ

草 本 ○ツリフネソウ○キツリフネ○シロツリフネソウ○アケボノシュスラン○モミジガサ○イヌドウナ○オクトリカブト○サラシナショウマ○ノコンギク○オオアキノキリンソウ○ミソソバ○アキノウナギツカミ○イヌタデ○ハナタデ○オオイヌタデ○タニソバ○ミズヒキ○キンミズヒキ○ゲンノショウコ○ヒメクグ○コブナグサ○ケチチミザサ○ヌカキビ○スズメノヒエ○ノコンギク○ゴマナ○ヤブマメ○ヒメジソ○ノッポロガンクビソウ○キンエノコロ○アキノエノコログサ○オトコエシ○ツユクサ○ノブキ○カラハナソウ○ミヤマニガウリ○アカバナ○キバナアキギリ○アキノギンリョウソウ○カワラナデシコ○ナガボノシロワレモコウ○ススキ×チゴユリ×ユキザサ×マイヅルソウ×オオウバユリ×エゾニュウ×ツクバネソウ×トチバニンジン×ツルアリドウシ○ハッカ○イヌゴマ

シダ類 コタニワタリ、リョウメンシダ、ジュウモンシダ、イヌガンソク、オシダ、クサソテツ、クジャクシダ、コウヤワラビ、サカゲイノデ、サトメシダ、ゼンマイ、ホソバシケシダ、ミソシダ、ミヤマシケシダ、ミヤマベニシダ、ヤマイヌワラビ、ワラビ、ホソバナライシダ、ミヤマイタチシダ

コケ類 ムツタチゴケ、エソチョウチンゴケ、エダウロコゴケモドキ、ケクラマゴケモドキ、ヤマトヒラゴケ、コホウオウゴケ、ホソバオキナゴケ、トサハラゴケモドキ、ウマスギゴケ、ハミズゴケ、イクビゴケ

きのこ タマゴダケ、ナラタケの仲間、ホウキタケの仲間、マスタケ、アカヤマドリ、ホコリタケ、クチベニタケ、イボテングタケ、ドクベニタケ

野 鳥

クマタカ、ノスリ、ヤマドリ、キジバト、アオバト、ヨタカ、オオアカゲラ、アカゲラ、コゲラ、ヒヨドリ、モズ、カワガラス、ミソサザイ、ウグイス、エナガ、コガラ、シジュウカラ、ヤマガラ、ゴジュウカラ、カワラヒワ、カケス、クロジ

哺乳類

サル群れ約 20 頭 (9/16、17、27 ※発信機付) リス2 頭 (9/20)
ニホンジカ1 頭 (10/7)

昆 虫

キアゲハ、スジグロシロチョウ、ツバメシジミ、ミドリヒョウモン、メスグロヒョウモン、ウラギンヒョウモン、コミスジ、サカハチチョウ、シータテハ、アカタテハ、クロヒカゲ、ヤマキマダラヒカゲ、ヒメキマダラヒカゲ、セセリチョウの仲間、オニヤンマ、オオルリボシヤンマ、アキアカネ、ナツアカネ、ノシメトンボ、オオアオイトトンボ、マユタテアカネ、ミンミンゼミ、オオカマキリ、コバネイナゴ、ヒナバタ、ツノカメムシの幼虫、クサギカメムシ、キイロスズメバチ、オオスズメバチ

両生類

ヤマアカガエル、アズマヒキガエル、タゴガエル

爬虫類

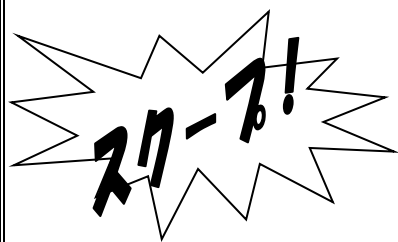
マムシ、ヤマカガシ、アオダイショウ、カナヘビ、トカゲ



※お詫びと訂正：ネットワーク9月号の梵珠山自然観察・発見ノート（植物）に誤りがありましたので訂正いたします。

誤：木本 クズ・ポタンツル ⇒ 正：草本 クズ・ポタンツル

※最新の自然情報については気軽にスタッフにお尋ねください。



梵珠山にもとうとう



ニホンジカが...!

近年、梵珠山地域内に従来生息していなかったニホンジカを目撃情報が寄せられ、今年に入ってから3回にわたりニホンジカが確認されました。現時点では、梵珠山地内での被害は確認されていませんが、今後増加傾向にあるニホンジカによる自然生態系への影響が心配されます。



立派な角を持つ雄のニホンジカ ※撮影日：10月7日（センター職員）

【梵珠山地域内での確認状況】

- ・令和5年4月15日（ふれあいセンター手前の市道途中）にオス1頭、メス1頭
- ・令和5年7月15日（ふれあいセンター手前の市道途中）にメス1頭、子1頭
- ・令和5年10月7日（ふれあいセンター手前の市道途中）オス1頭

※いずれも目視による確認

【梵珠山周辺の自然】

・各地の山々で紅葉の見頃の情報が寄せられていますが、梵珠山のブナ林も徐々に「秋の色」に染まってきています。予報では今年の紅葉は平年並みか平年より遅れるところもあるようです。今年の秋、梵珠山はどのような色彩を私たちにを見せてくれるのでしょうか。

ところで、みなさん「秋」を楽しんでいますか？秋といえば、食欲の秋、芸術の秋、読書の秋など・・・秋に結びつく言葉はたくさんあります。そこで、今回は梵珠山にある「アキ」の名前のつく植物を紹介します。



キバナアキギリ



アキノギンリョウソウ



オオアキノキリンソウ



アキノウナギツカミ



アキノエノコログサ



アキグミ



アキタブキ



アキノノゲシ

9月の日曜観察会

開催日 (9月17日:晴)

○講師 長尾キヨさん「秋の花を楽しもう」 ○講師 齋藤信夫さん「シダ植物の胞子は飛んだか」



○講師 太田正文さん「コケの観察⑥」 ○講師 針生倅吉さん「初秋の森で探しましょう」



○講師 市田忠夫さん「9月の昆虫」



9月のサポーターズ隊活動 開催日:9月18日(月)



9月の活動はセンター裏斜面の草刈と整備です

お知らせコーナー

これからの行事

- *11月5日(日)午前「自然まるごと発表会」自然を愛する方々の自由な発表会です。午後は、弘前大学農学生命科学部付属白神自然環境研究センター 准教授 山岸洋貴氏による特別講演会「植物学的にみた白神山地の魅力と課題」を開催します。
- *11月19日(日)「日曜観察会⑧」講師は、齋藤信夫さん(シダ植物)太田正文さん(コケ植物)針生倅吉さん(野鳥)工藤忠さん(昆虫)市田忠夫(昆虫)です。
- *12月 3日(日)「クラフト教室」自然素材を使ったクリスマスリース作りです。

サポーターズ活動

- *11月の活動は、市道の落葉清掃を予定しています。詳しい日程はHP等でお知らせします。時間は9:30分から12時まで。どなたでも気軽に参加できます。
- ※天候、その他の事情により活動内容の変更、又は中止の場合もあり得ます。

センターより

- *凍結防止の為、11月中旬~下旬にかけて寺屋敷広場・キャンプ場トイレを閉鎖します。
- *今年度、県立自然ふれあいセンターキャンプ場の使用は、11月30日までとなっております。